

デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、お客様のお役に立てる分析センターとして事業を成長発展させるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、納期短縮、サービス供品質の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様にご利用頂ける分析センターを目指します。

経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

「お客様と当社従業員が情報共有できるクラウドシステム」を構築します。これにより、分析結果報告の納期短縮と当社事務管理業務の生産性を大幅に向上させます。

また、本システムの導入により、大阪本社と東京支社の連携が強化され、今後拠点が增加してもサービス内容が希薄化することなく、高い品質を維持できる体制が整います。

戦略を効果的に進めるための体制

代表取締役梯翔太がCIO（最高情報責任者）を兼務し、CIOをリーダーとした情報システム部門（プロジェクトチーム）を発足します。

ITコーディネータ有資格者1名以上とITパスポート資格者1名以上を情報システム部門員に所属させます。

社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。